

2018 年度 実践女子大学短期大学部 派遣留学報告書

留 学 先	ビクトリア大学		
留学先での所属	GE3、EAP4		
派遣期間	2018 年 8 月～12 月		
滞在先	ホームステイ		
本学での所属	英語コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース	派遣時学年	1 年

留学生生活を振り返り、達成したこと留学で得たことを記入して下さい

私は、留学に行く前はとても不安で自分に自信が全くなかったのですが、生活していけるかとても心配だったのですが、今は派遣留学に行き本当に良かった、と思いました。

オーストラリアは多国籍文化で街には色々な国の人たちがいます。そのため、韓国料理屋、中華、和食、イタリアン、ベトナム料理など本当にたくさんの国のレストランやお店がありました。オーストラリア、特にメルボルンは、観光というより住むのに最適な国だと思ったし、とても住みやすかったです。多文化についても知ることができました。日本の文化と違うことが多々あり戸惑うことも多かったのですが、生活して行くにつれて慣れてゆき、とても楽しいメルボルン生活を送ることができました。

たくさんの友達、先生、そして私を受け入れてくれたホームステイ先の家族のおかげで、知らない土地で英語を使った生活がすごく不安だったのですが、日本ではすることのできないたくさんの貴重な経験ができました。ありがとうございました。

次年度以降の派遣学生へ伝えておきたいことを記入して下さい

今後派遣留学をする学生で、日本とは違った文化に慣れなかったり戸惑ったりすることがあると思いますが、それを受け入れられたらとても素晴らしい留学生活になると思います。

2018 年度 実践女子大学短期大学部 派遣留学報告書

留 学 先	ビクトリア大学		
留学先での所属	EAP4、EAP5		
派遣期間	2018 年 8 月～12 月		
滞在先	ホームステイ		
本学での所属	英語コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース	派遣時学年	2 年

留学生生活を振り返り、達成したこと留学で得たことを記入して下さい

留学を通し英語力の向上はもちろん、世界中の人とコミュニケーションをたくさんとり、世界中に友達ができ、今回の留学の実りです。様々な国籍の人と接したことで、日本と他国の文化の違いなどを発見することができ、視野がとても広がりました。日本の素晴らしさもまた更に知ることができました。

今回の留学で常に心がけていたことは、授業中や友達と話す時などは、間違った英語なのではないか、発音が間違っているのではないかと恐れず、とにかく進んで発言し、会話の中に参加していくようにすることです。英語を上達させる為には間違っけていても、とにかく英語を最大限使うことが大事だと気づきました。

2018 年度 実践女子大学短期大学部 派遣留学報告書

留 学 先	ビクトリア大学		
留学先での所属	GE3、EAP4		
派遣期間	2018 年 8 月～12 月		
滞在先	ホームステイ		
本学での所属	英語コミュニケーション学科 国際コミュニケーションコース	派遣時学年	1 年

留学生生活を振り返り、達成したこと留学で得たことを記入して下さい

行く前は英語が話せず、留学先でも初めの 1 ヶ月はこんなことも話せないのかと自分でも驚きましたが、学校が始まってからは外国の友達もでき、4 ヶ月ホストファミリーと問題なく家族の一員として過ごせたことが自分の自信になっています。1 人でイングリッシュツアーに参加して学校以外の人と過ごしたり、ランゲージエクスチェンジに参加したり、英語を話せる絶好の機会を無駄なく過ごせるように考えるだけでなく、しっかりと行動にできたことも成長できた部分だと思います。学校では英語だけではなく色々な国の言葉を教えてもらったので、新しい言語を学ぶことがとても楽しいことを改めて実感しました。着いてから2ヶ月頃にはすでに日本に帰りたくないと思うほど毎日が充実していて、英語をもっと話せるようになりたいと強く思いました。帰国後も友達と連絡を取り合ったり、お互いの国に旅行に行く約束をしたり、これからも関わっていけるような外国人の友達ができただけのも大きな収穫です。この留学で経験できたことや学んだことはこれからの自分の自信になり、行動にいい影響を与えると思うので本当に行ってよかったと思っています。